

# 意見を比較・検討していく中で、合意形成できる学級会の工夫 ～ジャムボードの意見共有と合意形成マニュアルの活用を通して～

特別研修員 特別活動 大栗 史寛(中学校教諭)

生徒の実態…意見を発表する生徒が限られていて、意見の交流が少ない。話し合いが深まらない。

教師の願い…意見を誰もが発表でき、話し合いを自分たちでまとめていき、よりよい意見に決めてほしい。

議題名「合唱コンクールに向けての取り組み方を考えよう」 学級活動(1) 第1学年

事前

- ①計画委員会(司会、時間、タブレット操作担当)がクラスの問題を発見し、議題を選定する。
- ②活動計画を作成し、話し合いにおけるめあて(視点)を担当と一緒に考える。

つかむ

**手立て1 ジャムボードでの意見共有**  
ジャムボードを活用し、意見を付箋紙で書き出し、交流できるようにする。

「歌詞の中で強弱をつけるところを意識したいね。」  
「パートごとの音程を意識して歌おう。」



出し合う

比べ合う

**手立て2 合意形成マニュアルの活用**

↓個人が出した意見



【比べ合う場面】

個人が出した意見の中で、共通点に線を引いたり、よいと思う部分に丸を付けたりして、グループで出した意見を比較・検討していく。

「『音程に気を付ける』は、書いている人が多いから、A-①の方法で共通点に線を引こう。」  
「サビの部分を盛り上げるのは自分たちに足りないところだからA-②の方法でOを付けよう。」

**合意形成マニュアル**

A: 出された意見を比べる。下の2つのやり方で比べる。

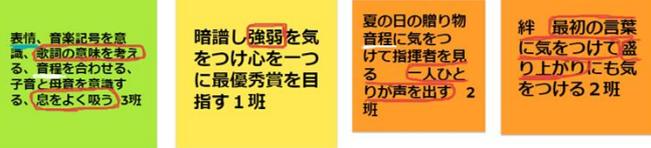
- ①共通点に線を引く
- ②よいと思う部分にOを付ける

B: 意見をまとめる。下の4つのやり方のどれかでまとめる。

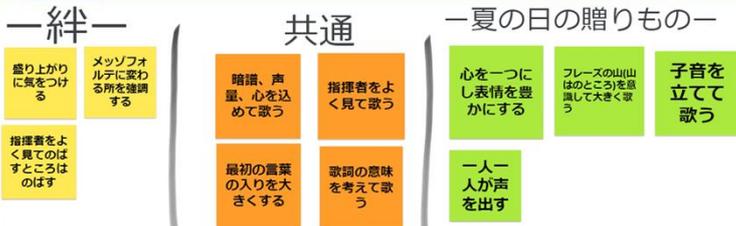
- ①共通点やよいところを、合体させる
- ②共通点やよいところを、優先順位をつけて順番に取り組む
- ③共通点やよいところから、新しい意見をつくる
- ④共通点やよいところを、内容別にまとめる

まとめる  
決める

↓それぞれのグループでまとめた意見



↓全体の話合いでまとめた意見 (④の「内容別にまとめる」の方法)



【まとめる・決める場面】

合意形成マニュアルをもとに、共通点やよいところをまとめていく。そのときに、四つのまとめる方法からどのまとめ方がよいか選択する。



←全体での話し合いの場面

「工夫することが曲ごとに違ったり、同じだったりするから別々にまとめたらどうかかな？」

「じゃあ、今回のまとめ方は、B-④の内容別にまとめる方法がいいね。」

事後

- ①話し合いで決定したことを実践する。
- ②実践の成果や課題を振り返る。



音程がまだ覚えられていなかったから家で曲を流して音程を完璧にすることができた！  
休み時間のパート練習で、曲の盛り上がりを意識したら前よりよくなった！

目指す生徒像

意見を比較・検討していく中で、合意形成できる生徒

成果

- ジャムボードで付箋に意見を書き出し共有できるようにしたことで、以前よりも多くの生徒が自分の意見を発表できるようになった。
- 合意形成マニュアルを提示したことで、意見を比べ合う場面において、意見に線を引いたり、丸を付けたりすることで意見の共通性やよさを見つけ、整理しながらまとめることができた。また、まとめ方の方法をいくつか提示したことで、内容によってどのまとめ方ならよいか生徒が考え選択し、自分たちで合意形成できるようになった。

課題

- ジャムボードでの意見共有の場面で、操作に集中させすぎないようにすることが必要である。付箋で書き出す言葉はキーワードのみで、発表するときに詳しく説明させたい。